

はじめに

地震、津波、台風、集中豪雨などの自然災害は、私たち人間の力では食い止めることはできませんが、災害による被害は、事前の防災・減災対策によって減らすことはできます。行政による防災の取り組み(公助)はもちろんですが、自らの身は自ら守る(自助)、皆のまちは皆で守る(共助)こそ、災害による被害を軽減、減少させるためには不可欠な取り組みです。

いざというときに備え、建物の耐震化や家具の固定など、「生き残らなければ、何も始まらない」という自覚に根差した防災・減災対策から始めましょう。また、大きな災害が発生した場合、行政や防災機関による活動には限界があることから、こうした場合には何よりも地域の人たちの協力が必要です。地域の人たちで協力して、災害時にすばやく行動できる体制をつくりましょう。

いざというときにあわてないように、そして大切なひとのいのちを守るために、まずできることから防災・減災対策を始めましょう。



もくじ

地震対策

知識編

防災・減災対策の基本「自助・共助・公助」 P.1

座間市の想定地震 P.1

地震の揺れと想定される被害 P.1

実施編

地震が起きたとき、どう行動するか P.2

地震後の火災を防ぐために P.3

火災別の消火方法を覚えておこう P.3

屋内にいたときの対応 P.4

屋外にいたときの対応 P.5

準備編

出来ていますか、家の中の安全対策 P.6

注意していますか、家の周囲の安全対策 P.8

集合住宅の安全対策ポイント P.9

風水害対策

風水害に備える P.10

土砂災害に備える P.12

津波対策

津波から身を守るために P.14

防災マップ

防災マップとは? P.15

災害時の避難

避難の心得 P.20

帰宅困難に備える P.22

家族との連絡方法 P.23

地域防災

自分たちの地域は自分たちで守る P.24

自主防災組織の活動 P.25

災害時要配慮者を守る P.26

防災準備

おぼえておこう!応急手当 P.28

非常持出品・非常備蓄品を準備しよう P.29

座間市からの情報提供 裏表紙

市民及び事業所の責務 裏表紙

地震対策 知識編

防災・減災対策の基本「自助・共助・公助」

震災の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが、災害対応能力を高め、連携することが大切だと言われています。

- 自助**
自分の身を自分の努力によって守る
●家の耐震化
●家具の転倒防止対策
●家庭内備蓄
●安全行動の実施

- 地域の防災力**
災害に強いまち
災害時の被害を抑える

- 共助**
地域や近隣の人、企業などが互いに協力し合う
●自主防災組織への参加
●災害時要配慮者の支援

チェックポイント 住民意識と現実のズレ

災害時における重要度の割合は、「自助7:共助2:公助1」と言われています。しかし、現実は、公助7割、自助が1割だと思われています。自助のことをしっかり理解し、共助につなげていくことが地域の防災力となります。

座間市の想定地震

神奈川県地震被害想定調査(H27.3)より

地震名称	震源地	マグニチュード	市内最大震度
都心南部直下地震	都心南部	7.3	6強
三浦半島断層群の地震	三浦半島	7.0	6弱
神奈川県西部地震	神奈川県西部	6.7	5弱
東海地震	駿河トラフ	8.0	5強
南海トラフ巨大地震	南海トラフ	9.0	5強
大正型関東地震	相模トラフ	8.2	6強
(参考)元禄型関東地震	相模トラフ	8.5	6強
(参考)相模トラフ最大クラスの地震	相模トラフ	8.7	7

地震の揺れと想定される被害

震度0	●人は揺れを感じない。
震度1	●屋内で静かにしている人の一部が、わずかに揺れを感じる。
震度2	●屋内にいる人の多くが揺れを感じる。 ●天井から吊り下がっている電灯などが少し揺れる。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ●棚にある食器類が当たり音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。
震度4	●寝ている人が起きるほど揺れを感じる。 ●屋内で吊り下げているものは大きく揺れ、不安定な置物が倒れることがある。 ●電線が大きく揺れて歩いている人も揺れを感じる。
震度5弱	●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●窓ガラスが割れることもあり、多くの人が恐怖感を覚える。 ●電柱が揺れるほど揺れで、何かに掴まりたいと思う。
震度5強	●多くの人が意思通りの行動に支障をきたす。 ●固定していないタンスなどの家具が倒れることがある。 ●自動車の運転が難しくなる。
震度6弱	●立っていることが難しくなる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下することもある。 ●耐震性の低い木造住宅は倒壊することもある。
震度6強	●這わないで動けないほど揺れになる。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる。 ●耐震性が高い住宅でも壁や柱が破損するケースがある。
震度7	●自分の意思通りの行動ができない。 ●耐震性の高い住宅でも傾く家が増え、耐震性の低い住宅は倒壊が増える。